

令和7年度 農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名： 島根県

農業委員会名： 吉賀町農業委員会

I 農業委員会の状況（令和7年4月1日現在）

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和6年5月23日

任期満了年月日 令和9年5月22日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	12	12
認定農業者	—	7
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	1
40代以下	—	2
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	11	11	11

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	702
農業経営体数	459

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	449
女性	151
40代以下	37

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数（経営体）
認定農業者	30
基本構想水準到達者	5
認定新規就農者	4
農業参入法人	1
集落営農経営	12
特定農業団体	0
集落営農組織	12

※農業委員会調べ

単位: h a

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	710	121				831

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	831 ha	237 ha	28.6 %
課題	担い手の高齢化、また後継者不足が課題。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう（以下同じ。）

②目標

農地の集積の目標年度	令和13年度	集積率	50 %
今年度の新規集積面積	29.9 ha	農地面積(C)	831 ha
今年度末の集積面積（累計）(D)	267.2 ha	(目標) 今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	32.2 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③実績

今年度の新規集積面積	3 ha	農地面積(F)	861 ha
今年度末の集積面積（累計）(G)	219.5 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	25.5 %
目標に対する達成状況(H)／(E)	79.3 %		

農業委員会の 点検結果	新規に1件法人が設立され、集積面積が増加した。 今後、圃場整備や集落営農の組織化が計画されている地域では、集積が進むと思われる。
----------------	---

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積（フロー）を記入

※2 今年度末の集積面積（累計）は、年度末時点の集積面積（ストック）を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	
		うち黄区分の遊休農地面積	
	84 ha	51.1 ha	32.7 ha
	耕作者の高齢化と後継者・地域の担い手不足。 鳥獣被害の多発。 新たに遊休農地を発生させない取り組みも必要。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	44.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	9.0 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

令和３年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	15.0	ha
--------------------------	------	----

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	基盤整備担当部局との情報共有を行い解消に努める。
-------------------------	--------------------------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	10.2	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	113.3	%

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	吉賀町内の３地区で圃場整備事業を進めており、この地域の遊休農地の解消に繋げる。
-------------------------	---

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況 調査	調査実施時期			調査結果取りまとめ時期		
	令和 7 年 8 月			令和 7 年 1 1 月		
	1号遊休農地 の面積	81.8 ha	うち緑区分の遊休農地	47.1	ha	
			うち黄区分の遊休農地	34.7	ha	
農地の利用意向 調査	調査実施時期			調査結果取りまとめ時期		
	令和 8 年 2 月			令和 8 年 3 月		

農業委員会の点検結果	耕作者の高齢化や担い手不足のため、遊休農地は増加している。また、鳥獣被害が耕作意欲を低下させている。 圃場整備事業、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金等を活用し、新たに遊休農地を発生させない取り組みが必要である。
------------	--

(３) 新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和４年度新規参入者		５年度新規参入者		６年度新規参入者	
	1	経営体	3	経営体	3	経営体
	0.1	ha	1.3	ha	1.3	ha
課題	農業者の高齢化や農業後継者の不足により、地域の農業の担い手が減少している。担い手の育成・確保、新規参入の育成を図っていく必要がある。 また、農地の貸し出し希望など、日ごろから情報収集をすることが必要である。					

※ 現状欄は、直近３年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和３年度	令和４年度	令和５年度	平均
	54 ha	30 ha	43 ha	42 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)			4.2 ha	

※１ 過去３年間の権利移動面積は、農地法（昭和27年法律第229号）第３条第１項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積（有償所有権移転（所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。）及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。）を記入

※２ 目標面積は、過去３年度の権利移動面積の平均の１割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積（B）		2.5	ha
公表URL	https://www.town.yoshika.lg.jp/sangyou/hougyou/nougoyoiinkainosenkyo/sinkisannyuunoutimenseki.html	（その他の公表方法）	
目標に対する達成状況（B）/（A）		59.5	%
（参考）新規参入者の参入状況	参入経営体数	2	経営体
	取得農地面積	12.4	ha

農業委員会の点検結果	新規就農者との情報交換を行い、農地情報の提供や就農計画等の作成支援を継続的に行っていく必要がある。
------------	---

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

（1）推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6	日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	12	人
			農地利用最適化推進委員の人数	11	人

（2）活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
12月	遊休農地の解消	遊休農地の所有者への今後の意向確認の実施（利用状況調査後）
1月	農地の集積	町産業課と連携して、地域計画に定めた方針に基づき、進捗状況を確認する。地域計画の変更が必要であるか、検討する。
2月	新規参入の促進	新規就農者の受け入れ可能な地域を選定し、貸付可能な農地の候補を挙げる。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	2	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
1月～3月	農地の集積	町産業課と連携して、地域計画に定めた方針に基づき、進捗状況を確認した。地域計画の変更が必要であるか検討した。
2月	新規参入の促進	新規就農者の受け入れ可能な地域を選定し、貸付可能な農地の候補を挙げた。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3) 新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	未定	相談会名	未定
参加者数	1人	開催場所	未定
相談会の内容	新規就農者を対象とする相談会への参加。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	2 回
---------------	-----

開催時期	令和7年9月	相談会名	Uターンフェア大阪
参加者数	1人	開催場所	大阪府
相談会の内容	有機農業希望者への説明		
開催時期	令和7年11月	相談会名	ふるさと島根Uターンフェア
参加者数	1人	開催場所	東京都
相談会の内容	吉賀町で就農する人の相談を受け、地域や農業の状況を説明した。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	
目標に対して期待どおりの結果が得られた	
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	23

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入